

事務事業マネジメントシート(令和 5年度実績と令和 6年度計画)

令和 6 年 8 月 26 日 更新

事務事業名		社会を明るくする運動事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4 生活環境の健康				所属部	総務部	課長名	田代 純児
	施策	17 防犯対策の推進				所属課	安全安心課	担当者名	三谷 三恵
	施策の柱	53 防犯意識の高揚と地域防犯対策				所属班	交通防犯対策班	(内線)	1242
予算科目		会計一般	款 2	項 1	目 4	事業連番 10032	根拠法令		
終了、開始年度		☒ 5年度で終了 ☐ 5年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない明るい社会を築くため、啓発を行うもの。 昭和26年7月犯罪の防止と犯罪をした人たちの立ち直りには、一般市民の理解と協力が不可欠であるという認識を深めた法務府（現在の法務省）は、この啓発活動を将来とも継続していく必要があるとして、“社会を明るくする運動”と名付け、国民運動として世に広げることとなった。 市において推進委員会を設置し、青少年育成会議と一緒に推進大会を実施し、各種街頭啓発活動を実施している。 ※R6年度から、10035防犯対策推進事業に統合する
【業務の流れ】	・実施計画の作成、推進委員会の開催、啓発運動に伴う各商店への依頼キャンペーン用品の申し込み、支払い、用品の配布、市内全域での広報活動作文コンテストの実施（学校への依頼、受付、審査依頼、報告）、広報誌への掲載
【主な予算費目】	・報償費（社会を明るくする運動推進委員） ・需用費（消耗品費）
【意見や要望】	・推進委員より、SNS等を活用した住民への啓発強化や、作文コンテスト応募校の格差をなくすための取組強化が必要との意見があった。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 5年度実績(5年度に行った主な活動)(DO) 社会を明るくする運動推進委員会を設置し、各団体と連携し広報活動や作文コンテスト等を実施し本運動の推進を図った。啓発ブースの設置、ホゴちゃんぬりえの配付、保育園への周知啓発などに取り組んだ。		6年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) R6年度から、10035防犯対策推進事業に統合する
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
⇒ ア: 運動関連行事数	件	令和6年度から10035防犯対策推進事業に統合することによる減
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
・市民		⇒ ア: 市民
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
・本運動について理解してもらう		⇒ ア: 本事業に参加した団体数
*③成果指標設定の理由と 6年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
・本運動について理解してもらうことを、事業に参加した団体数で判断するもの。		全体計画 ~ 年度
		0

(2) 各指標・総事業費 の推移		単位	3年度 実績(決算)	4年度 実績(決算)	5年度 目標(当初予算)	5年度 実績(決算)	6年度 目標(当初予算)	7年度 予定	8年度 見込	9年度 見込	
① 活動指標	件	アイ	14	17	17	19	0	0	0	0	
② 対象指標	人	アイ	63,841	64,453	65,500	64,787	0	0	0	0	
③ 成果指標	団体	アイ	9	10	9	10	0	0	0	0	
投資 事業 入費 量	財源 内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
		一般財源	千円	174	175	199	133				
	(A) 事業費計	千円	174	175	199	133	0	0	0	0	
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	
	人件 費	正規職員従事人数	人	5	3	6	3	0	0	0	0
		延べ業務時間	時間	280	270	280	210	0	0	0	0
		(B)人件費計	千円	1,094	1,027	1,115	764	0	0	0	0
トータルコスト(A)+(B)		千円	1,268	1,202	1,314	897	0	0	0	0	

事務事業名	社会を明るくする運動事業	所属部	総務部	所属課	安全安心課
-------	--------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部（CHECK）

*原則は 5 年度的事後評価、ただし複数年度事業は 5 年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 5 年度目標達成度評価	☒ 達成した 大雨警報による避難所開設のため推進委員会は急遽中止としたが、作文コンクール表彰の実施や、ぬりえの展示、啓発コーナー設置など新たな取り組みを実施できた。
	② 6 年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 協力要請、運動の周知・啓発を行い、目標達成に努める。R6年度から、10035防犯対策推進事業に統合する
有効性評価	③ 成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 運動のより一層の周知啓発を図り、働きかけを行うことで成果の向上余地がある。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☒ 他に手段がある⇒（具体的な手段、事務事業） ☒ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 R6年度から、10035防犯対策推進事業に統合する
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 成果を維持、向上させるためには削減の余地はない
	⑥ 人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 活動を行う上で必須となる経費は人件費のみであり、また、行政と関係団体との連携が必要なるため、成果を維持・向上させるためには削減の余地はない。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 市民に対し、運動の啓発を行うもので公平である。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 更正について市民の理解を深め、立ち直りやすい環境をつくることは市の役割であり、適正である。

3 評価結果の総括（CHECK）

工夫した啓発を行なうことで運動への理解を深める。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☒ 事業統廃合・連携 ☐ 事業のやり方改善（有効性改善） ☐ 事業のやり方改善（効率性改善） ☐ 事業のやり方改善（公平性改善） ☐ 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）		(2) 改革・改善による期待成果 （廃止・休止の場合は記入不要）																					
		<table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○																				
	低下																						
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																							